



明照保育園  
連絡はこちらへ  
TEL...0182-32-7388  
HP・FB随時更新中  
2023年10月1日発行

【平和と保育】

先月で無事に40歳になりました。ファミコンと東京ディズニーランドとキン肉マン消しゴムと同期。健康診断で鼻から胃カメラを入れることも抵抗なくできる、そんな年になりました。40年生きてきましたが、私は疑問を多く持つ性格なんだろうと思います。

レジでの一コマ。お支払いはと聞かれ「クレジットで1回をお願いします。」店員さんから「支払回数はどうしますか?」、私「1回をお願いします」。毎回、最初に1回で言っているのですが、その度に聞かれます。

ある高速のお土産も売っているサービスエリアでの一コマ。大きい瓶のジュースが売っていたのでお土産に2本買ってレジに。店員さん「瓶ですけど大丈夫ですか?」、私「大丈夫って...どう言えばいいですか?初めてで大丈夫かわかんないですけど。」、店員さん「割れると危ないかなと思って、包みますか?」、私「はい、そうしてください」。これって確認する必要がありますか?大丈夫じゃなければ最初から大丈夫のように陳列販売してほしいんですけど。

秋田空港での一コマ。東京に行くための予定の便が欠航となり、変更などが必要でカウンターは長蛇の列になっていました。数列あったので並んでいると、おばちゃんから「この列は東京行変更するための便?」と聞かれ、「そうだと思いますよ」と答えたとこ、おばちゃんから「違う。その列はあっちだ!」と怒られました。結果的に並んだ列も目的の列で合ってたんですけど、なんで怒られたの僕。それに自分で知ってるのならなんで聞くの?

人生は良いことも悪いことも、もしかしたら悪いと思っただことも、後で思い返せば良いことであったり味わい深いこともあるのでしょう。思いがけないことは、日常もありますが旅先だとより多く起きるものです。

先日、お坊さんの研修会で訪れた広島。降り立った広島空港。広島空港って山の中にあって広島駅まではバスで1時間近くかかるんです。そしてバスも1時間に一本しかなかったり。そのことを知らず、バスチケットを職員さんに聞きながらようやく買って気づいた、数分前に出発してたことに。今出発しますよ次の便は1時間後ですよって、なんで言ってくれないの?って、別に黙っていても観光客はたくさん来るし...という姿勢なのかと思いつつ悩んでいると気さくなおじさんに声を掛けられました。同じ行先なので、一緒にこっちのルートで行きましょうということになり、バスや小さな駅で電車を乗り継ぎ到着しました。おじさんは広島県内の大学の先生で、観光業を目指す学生を引率して広島空港に実地調査に来て現地解散したとのこと。この便の悪さも来てみないとわかんないですね〜と、先生から今の大学生事情や色んなお話を聞きつつ、私も保育とお寺をしてこんなことをこれから目指したいんです〜と、道中色々な話に華が咲きました。

広島では平和を考えずにはいられません。以前から原爆の日に合わせて学童では命と平和の大切さを伝えるために、原爆の絵本の読み聞かせをしています。そのような私として、平和記念資料館の見学はとても印象深いものでした。高校の修学旅行以来でしたが展示内容が2019年に全面リニューアルし、焼かれた人形といった再現を重視す

る展示から、遺品や実物が語ることを大事にした展示へと様変わりしています。

資料館の中は誰も言葉を発しない、静かに黙々と展示と向き合う空間でした。ある小学生の女の子の日常の日記。「8月5日、今日は家族でお風呂に入って遊んだ。明日もこんなことをしたい。私はこんなことを目指したい。」翌日(原爆投下)以降の日記は空欄となっています。展示の前で、涙ぐむ見学者の女の子、その子の背中をさすお母さん。展示の前でこらえることができなくなっている方が少なくありませんでした。

平和とはなんでしょう。今年8月の平和祈念式典の子ども代表(小学6年生)の誓いには、「争いや戦争がないこと。差別をせず、違いを認め合うこと。悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。身近なところにも、たくさん平和があります。」そんな一文がありました。日常に平和もある争いもあるということです。



私たち保護者は、子どもたちの日常を共に過ごしながら支えていかなければいけませんよね。保育者はその子の安心な環境と育ちにとって、より良い機会を提供していく責務があります。

最近、全国的に不適切保育が問題視され、保育現場ではやりたいことが怖くてできなくなったなど萎縮しているという別の問題も生じています。先日、研修会で聞いた話。

国で不適切保育について令和4年12月に実態調査が行われたのですが、実はこの調査の本意として、正確な実態を得たいという一方で、不適切保育をしてはいけないという上からの現場萎縮につなげたくない、むしろどのような保育をしていくべきかという議論のきっかけとしたいというのが国の担当者の願いであったということです。

そして研修会の講師はこう続けます。「不適切保育を起ささないようにすることは大事なことであるが、起きる起きないは別として薄氷の中で行われている保育こそが日常保育である。不適切保育を良い保育につなげるためにはバックアップが必要である」と。

保育現場では、今日もこの子にこういう機会を提供しようと悩み、日案・週案・月案と年間の計画に沿って進めています。でも、相手は子どもです、人ですから予期せぬことが当然起きます。それが自然です。つまりは計画が狂うのが当たり前ということです。これは保育者と保護者も同じだとは思いませんか。計画にとらわれ過ぎ、思い通りに行かないと強く思いすぎることは負担となり、不適切保育・育児の種となります。

もちろん、命を脅かす、心に傷を負うような不適切な保育は決して行ってはいけません。でも恐れずに言えば、人と人とがふれあいの中で行われる保育には、臨機応変さが求められる不適切が同居しているということです。だからこそその予期せぬ面白さもあるでしょう。日常というのは平和と争いの隣り合わせであること、お互いの環境を認め合い、もう少し良い保育ができたかなと振り返り、一歩一歩と歩いていくことが大事なんじゃないのかなと思います。

園長 津村 侑弥

今月の歌 3歳未満児組...さんぽ・まつぼっくり・やきいも(手遊び)・くりおちた(手遊び)  
3歳以上児組...さんぽ・勇氣100%・くりおちた(手遊び)・こどもの世界

今月の目標



0歳児 (ひよこ組)	一人一人に合わせたリズムで、秋の自然に触れながら、散歩や探索活動を楽しむ	3歳児 (もも組)	身近な秋の自然物を使い、季節の変化を感じながら遊びを楽しむ
1歳児 (りす組)	秋の自然に触れながら、全身を使っての遊びや感覚遊びを楽しむ	4歳児 (ひまわり組)	自然の身近な事象の変化を感じながら、秋ならではの自然物を遊びの中へ取り入れ楽しむ
2歳児 (うさぎ組)	秋の自然の中で、友達と関わりながら、好きな遊びを楽しむ	5歳児 (さくら組)	秋の自然に親しみ、収穫体験では、実りの不思議さを感じたり、戸外遊びでは、事象の変化を体感したりして楽しむ

今月の行事

2日(月)	衣替え	
5日(木)	詩吟勉強会(さくら組)	11:00~11:30
10日(火)	ぶどう狩り(さくら組)	10:00~11:30(予備日11日)
11日(水)	避難訓練 消防署立ち合い訓練	10:00~10:30
12日(木)	性教育講座⑤(さくら組) [生まれた!体験・赤ちゃんを抱っこ]	11:00~11:30
13日(金)	教育相談③ 横手支援学校	9:00~11:00 保育参観 13:30~15:00 協議
16日(月)	交通安全指導 飛び出しの危険を知る	9:15~9:30
18日(水)	誕生会	10:00~10:40
	職員ミーティング	13:00~14:00
21日(土)	年長児合同発表会	9:30~12:30(さくら組) (明照保育園×金沢保育園×横手マリア園) 市民会館
24日(火)	身体測定	
26日(木)	昔語り(3歳以上児組)	11:00~11:30
	内科健診	14:00~

10月の職員の研修等	
3日(火)むつみ子ども園参観	13日(金)すくすくネットワーク
4日(水) //	
6日(木)子育て支援員研修	19日(木)保育研究委員会
10日(火)横手市地区保育セミナー	25日(水)第2回主任保育士・看護師研修会

元気な子に なあ〜れ!!



おたんじょうび おめでとう!

ひよこ組(0歳児) 1歳になります!

ちゃん ちゃん

もも組(3歳児) 4歳になります!

さん

26日(木) 午後2時内科健診です!  
嘱託医の横手病院 小児科 小松先生に聞いてほしいことがある方は、担任にお知らせください。(健診時に担任より聞きます)  
体調不良での欠席はやむを得ないですが、当日は、欠席のないようご協力ください。

横手市子育て支援課からのお知らせ  
令和6年4月中旬に保育園の利用を希望する方の受付がはじまります。(市報10月号・HPにも掲載)  
\*受付期間 R5年10月2日~11月30日  
\*申込先 横手市子育て支援課 各市民サービス課

10月1日より、よろしくお願ひいたします。  
事務職員 さんが勤務することになりました。(さくら組の保護者さんでもあります)  
今までの経験を活かして、園を事務の方から支えていただきます。

安心・安全へのご協力をお願いいたします。

子どもたちが保育園で元気に遊び、食べ、眠るが毎日当たり前に行っているのは、保護者の皆さんのご理解とご協力があること、日々感謝しております。朝に「おはようございます」と受け入れ、各家庭の時間に合わせた降園時に元気に「さようなら」のあいさつで帰る。この日常のくり返しを守るためのひとつとして、電子連絡帳への9時までの入力へご協力をいただいております。9時になっても確認できないときは、連絡先順に電話させていただいております。職場にかけられることも多く申し訳なく思っています。

先日のニュースに、送り忘れと保育園からの確認をその日はしなかったことからの悲しい出来事がありました。ご家庭と園が確認なく「~だろう...」で1日をスタートさせてはいけません。引き続き、このシステムを保護者さんが朝に行うことのひとつに根付かせていただき、各ご家庭のタイミングで、どうか9時までに入力を完了させてください。